

和気町役場 新聞情報

平成29年9月5日(火)

山陽新聞 東備版

ドローン教習所誘致

和気町 運営会社と包括協定

来月2日開校

和気町は、小型無人機ドローンの操縦技術を指導する教習所を町内に誘致した。10月2日に開校する予定。4日には運営会社との間で、ドローンを活用した地域経済活性化などに関する包括連携協定を結んだ。

京の経営コンサルティング会社が教習所の運営会社(同町益原)を設立し、和気ドーム(同所)を拠点に事業展開することとなった。

教習所では、業界団体「日本UAS産業振興協議会」(東京)が認定する操縦士や安全運航管理者の資格取得に対応する。県内では、岡山、総社市などにも同様の教習所がある。

包括連携協定は、ドローンを生かし、地域経済活性化や災害対応などに活用するほか、ドローン事業を展開する企業の誘致や関連イベントの開催などを想定しているという。

町役場で調印式があり、大森直徳町長と運営会社の草加好弘社長が協定書を交わした。大森町長は「時代の先端を行く取り組みがうまく進むよう、町として協力していきたい」と述べた。

(平松隆)

ドローンを活用した包括連携協定



協定書を持ち握手する大森町長(左から2人目)と草加社長(同3人目)ら